

社会資本総合整備計画 事後評価

平成 28 年 12 月 26 日

計画の名称	1 総合的な下水道整備と浸水対策の推進							重点配分対象の該当		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)			交付対象	豊橋市					
計画の目標	・汚水整備の推進と合流区域の処理区編入により、生活環境の向上と河川や三河湾などの公共用水域の水質保全を図る。									
計画の成果目標(定量的指標)	・下水道処理人口普及率を、74.2%(H21末)から76.0%(H27末)に増加。 ・処理場間の汚水幹線整備率を、0.0%(H21末)から21.5%(H27末)に増加。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)				
①	下水道を利用できる人口の総人口に対する割合 下水道処理人口普及率(%) = (下水道を利用できる人口(人)) / (総人口(人))			74.2%	75.5%	76.0%				
②	合流区域の処理区編入により、野田処理場から中島処理場へ汚水を送る幹線整備の進捗割合 汚水幹線整備率(%) = (年度毎の幹線整備延長(m)) / (幹線総延長(m))			0.0%	0.0%	21.5%				
③										
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,529百万円	A	2,254百万円	B	0	C	275百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	10.9%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
豊橋市上下水道局(下水道施設課、下水道整備課)で実施	平成28年12月
	公表の方法
	豊橋市上下水道局HP上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																					
A1 下水道事業													事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H23	H24	H25	H26	H27						
1-A-1	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	汚水	新設	中島処理区(未普及解消)	大岩・二川地区 A=106ha	豊橋市						1,283					
1-A-2	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	水処理	増設	高根処理場(水質保全)	最終沈殿池1池 水面積負荷8m ³ /m ² /日	豊橋市						106					
1-A-3	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	水処理	増設	五並処理場(水質保全)	最終沈殿池1池 水面積負荷8m ³ /m ² /日	豊橋市						144					
1-A-4	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	合流	新設	中島処理区(未普及解消)	野田・中島汚水幹線 L=6,620m	豊橋市						658					
1-A-5	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	汚水	新設	豊川流域関連処理区(未普及解消)	前芝処理分区 A=6ha	豊橋市						58					
1-A-6	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	汚水	新設	全県域汚水適正処理構想策定(未普及解消)	構想策定	豊橋市						5					
合計																2,254					
B 関連社会資本整備事業													事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	H23	H24	H25	H26	H27							
																0					
合計																0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考			

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
1-C-1	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	新設	中島処理区(末端管渠布設)	大岩・二川地区 A=106ha	豊橋市						245			
1-C-2	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	新設	豊川流域関連処理区(末端管渠布設)	前芝処理分区 A=6ha	豊橋市						30			
										合計					275			
番号 一体的に実施することにより期待される効果																		備考
1-C-1 大岩・二川地区(基幹事業対象)(1-A-1)で整備する污水管渠と接続した末端管渠整備を行うことにより、下水道処理人口普及率の向上を図る。																		
1-C-2 前芝処理分区(基幹事業対象)(1-A-5)で整備する污水管渠と接続した末端管渠整備を行うことにより、下水道処理人口普及率の向上を図る。																		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な污水管渠整備により、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が順次図られている。 適切な污水处理施設の整備により、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が順次図られている。
--	--

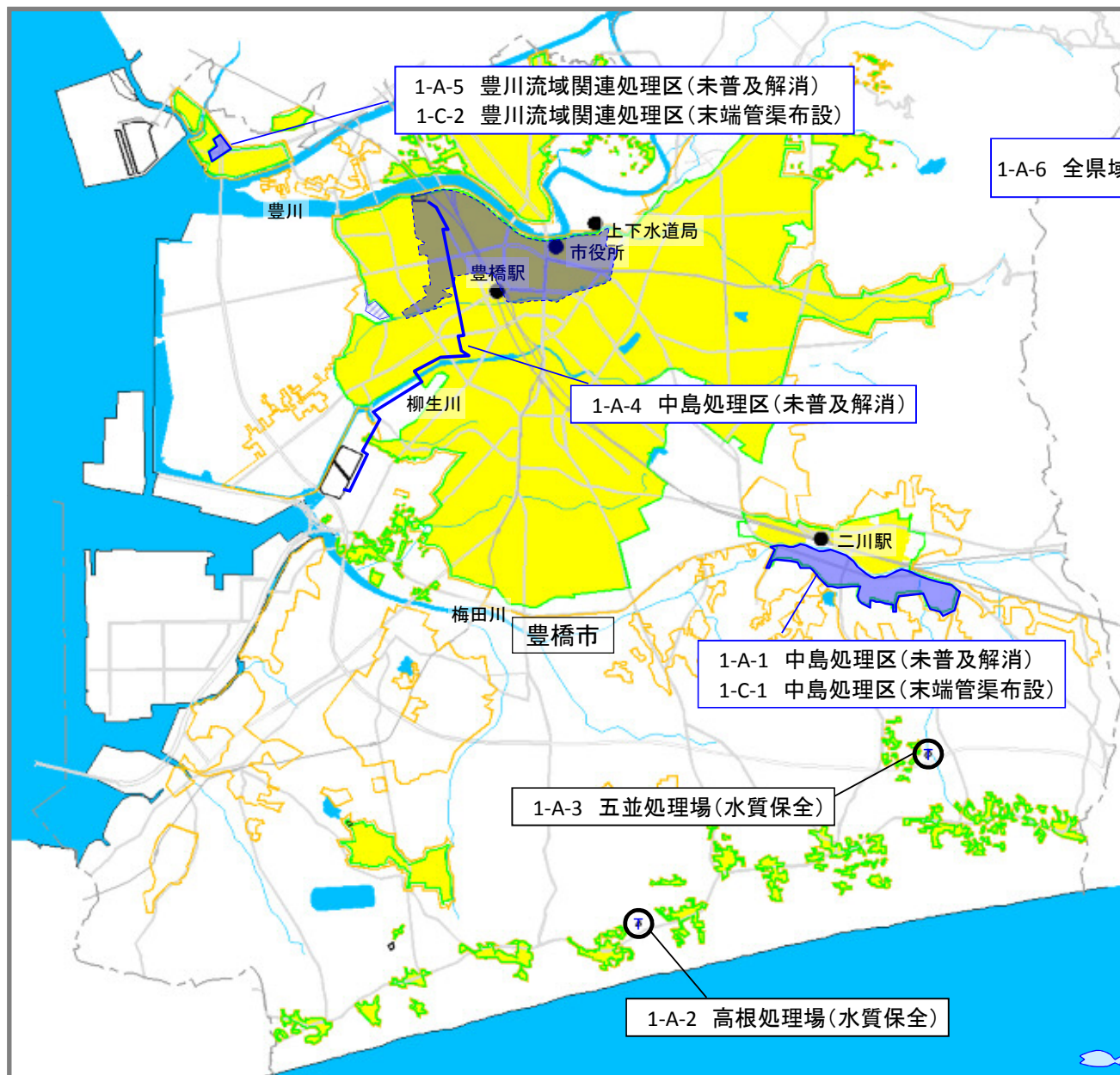
II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道処理人口普及率の向上)	最終目標値	76.0%	目標値と実績値に差が出た要因	当初計画通り大岩・二川地区の整備については完了することができたが、污水整備の進捗により下水道処理人口は増加するものの、既整備地区の人口が減少傾向にあるため、普及率が伸びなかったものと思われる。	
		最終実績値	75.0%			
	指標②(污水幹線整備率の進捗割合)	最終目標値	21.5%	目標値と実績値に差が出た要因		野田・中島污水幹線の建設に係る工法検討に時間を要し、工事着手が1年遅れたため。
		最終実績値	14.5%			
	指標③()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値				

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	特になし
--	------

3. 特記事項(今後の方針等)

<ul style="list-style-type: none"> 面整備については現在区画整理事業が進められている地区を中心に、市街化区域内の整備を推進する。 野田・中島送水管の建設については、重点化事業に位置付けることにより事業費の確保に努め、早期の整備完了を目指す。

計画の名称	1 総合的な下水道整備と浸水対策の推進	交付対象	豊橋市
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		



- 凡 例
- 全体計画区域(污水)
 - 下水道法による事業計画区域(污水)
 - 既整備区域(污水)
 - 既計画事業(整備中・未整備)
 - 既計画事業(完了)